

大里中学校 英語科シラバス 1 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「Sunshine English Course 1」
補助教材「めきめき English」

1. 外国語で簡単な情報や概念・要点などを理解したり、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて表現する能力
【主体的に学習に取り組む態度】
2. 外国語で簡単な情報や概念・要点などを理解したり、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて表現できる能力
【思考・判断・表現】
3. 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技術を身につけている。
【知識・技能】

2 授業の進め方

英語の授業では、英語の力の向上を目指して「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」などの技能をフル活用しながら、授業を展開していきます。そのため、英語の授業においては、「聞き手」「読み手」「話し手」「書き手」に応じてペアワークやグループワークなどのコミュニケーション活動を通して英語を学習していきます。

3 学習上の留意点

- ① classroom Englishを使って会話しましょう。
- ② 学習用具はしっかりそろえてください。休み時間のうちに机の上に準備しましょう。
- ③ ファイルと辞書は教室のロッカーに保管し、授業の時は机の上に準備します。
- ④ ペアワークやグループワークの時は英語で！（英語は使わないと身に付きません）
- ⑤ テスト、プリントなどはきちんとファイルにつづりましょう。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ① 4線ノートを準備して、授業中の板書やポイントなどをメモしましょう。
- ② めきめきEnglishなどを活用して授業のふり返しなどをメモしましょう。
- ③ スタディサプリやタブレットを活用して動画を見たり学習内容を繰り返し学習して基礎・基本を固めよう！

5 単元テスト

- ・原則書く単元でペーパーテスト（リスニングがあるときも有を）を実施します。
- ・単元の目標に応じてパフォーマンステスト（4技能を活用）したテストを実施します。
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	授業で学んだ知識や技能が身についているか。それを生活や他の場面で活用できるか。	授業で学んだ知識や技能を、課題解決のためにどのように判断し、表現にいかしているか。	知識・技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりする粘り強い取り組みの中で、自分の学習を調整する力。
方法	定期テスト・単元テスト 本読みテスト パフォーマンステスト	パフォーマンステスト 英作文、スピーチ 定期テスト、提出物の内容（ポスター、ワークシート）等	学習態度・授業への参加状況・発表、振り返りシート

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ループリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1学期	4	PROGRAM 1 be動詞（肯定・否定・疑問） Step 1（発表上手になろう）	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・be動詞やwhereの意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことについて伝え合う技能を身に付けている。 ・伝えたい内容を上手に発表する技能を身に付けている。
	5	PROGRAM 2 一般動詞（肯定・否定・疑問） 複数形 Whenの疑問文アクション コーナーアクションコーナー（命令文）	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・一般動詞や複数形、whenの意味や働きの理解をもとに、自分や相手がすることについて伝え合う技能を身に付けている。 ・命令文の意味や働きの理解をもとに、しなければいけないことやしてはいけないことを聞き取ったり伝え合ったりする技能を身に付けている。
	6	PROGRAM 3 can（肯定・否定・疑問） Whatの疑問文 Step 2 考えを整理し、表現しよう	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・canやwhatの意味や働きの理解をもとに、できることやできないことについて伝え合う技能を身に付けている。 ・マッピングの使い方の理解をもとに、内容を整理して話す技能を身に付けている。
	7	Our Project 1（これまでの復習） Power-Up 1 Can I have ~? How much ~? PROGRAM 4 This [That] is ~. He [She] is ~. Whoの疑問文	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・be動詞や一般動詞などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「あなたの知らない私」というテーマのスピーチの概要を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。 ・飲食店での注文で使う表現の理解をもとに、客と店員の会話の内容を聞き取る技能を身に付けている。 ・This is ~やHe is ~、whoの意味や働きの理解をもとに、自分と相手以外の人やものについて伝え合う技能を身に付けている。
2学期	9	PROGRAM 5 三人称・単数・現在 Power-Up 2 Whichの疑問文 Whoseの疑問文	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・三人称・単数・現在の意味や働きの理解をもとに、自分と相手以外の人などについて伝え合う技能を身に付けている。 ・whichやwhoseの意味や働きの理解をもとに、登場人物の持ち物についてたずねたり答えたりする技能を身に付けている。
	10	PROGRAM 6 him, her Whyの疑問文, Because . Step 3 スピーチの構成	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・himやher, whyの疑問文, Because ~の意味や働きの理解をもとに、人やものについて伝えたり、理由をたずねたりする技能を身に付けている。 ・相手にわかりやすい話の組み立て方の理解をもとに、論理立ててスピーチ原稿を書く技能を身に付けている。
	11	PROGRAM 7 There is [are] ~. Howの疑問文 Power-Up 3 Where is ~? Turn right, and ~. など	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・There is [are] ~.やhowの疑問文の意味や働きの理解をもとに、地域にあるものや交通手段について伝え合う技能を身に付けている。 ・道案内で使う表現の理解をもとに、行きたい場所や行き方を伝え合う技能を身に付けている。
	12	PROGRAM 8 現在進行形 Power-Up 4 Can I help you? Do you have the same one in? など	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・現在進行形の意味や働きの理解をもとに、今していることについて伝え合う技能を身に付けている。 ・服屋などの店で買い物をするときに使う表現の理解をもとに、おすすめの商品の提案を聞き取ったり、色違いの商品を求める技能を身に付けている。
3学期	1	PROGRAM 9 一般動詞の過去形 Step 5 発表用メモを活用しよう	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・一般動詞の過去形の意味や働きの理解をもとに、過去にしたことについて伝え合う技能を身に付けている。 ・スムーズに発表するためのメモの作り方の理解をもとに、話したい内容を簡潔にメモにまとめる技能を身に付けている。
	2	PROGRAM 10 be動詞の過去形 過去進行形	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・be動詞の過去形や過去進行形の意味や働きの理解をもとに、過去の様子などについて伝え合う技能を身に付けている。
	3	Our Project 3 （これまでの復習） Power-Up 6 手紙で使う表現 （Dear ~ / Your friend,）	・単元テスト ・パフォーマンステスト ・提出物	・過去形などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに「私が選んだ1枚」というテーマのスピーチを聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。 ・手紙で使う表現の理解をもとに、絵はがきの内容を読み取ったり書いたりする技能を身に付けている。